

慎みを持つ

— 忍辱波羅蜜

辱

きを忍ぶ

(四版)

忍辱波羅蜜学びなん

耐えて忍ぶと説くならば

我慢をする誤解あり

我慢は二見の心なり

自我に執して本音あり

忍ぶに堪えるは学ぶべし

世の為人の為なりと

行う身心導かん

辱を忍ぶと習うべし

心根深く慎みありて

少欲知足の覺りを修む

必要受けるを忍びなん

一切衆生の道しるべ

仏陀が在世し導くも

慎み持ちて歩まれり

忍耐

染汚

堪忍

もつたいない

慚愧

恥じる思いあり

宮城県大崎市

瑞川寺住職

木村謙文